

- 問1 歴史学習のテーマとして「国風文化」を扱う際、その代表例として「古今和歌集」が挙げられます。この歌集が「勅撰和歌集（ちよくせんわかしゅう）」と呼ばれる理由として、最も適切な説明はどれですか。（2022年 三重県公立入試 類似）
1. 天皇の命令によって、国家の事業として編纂されたため
 2. 各地の有力な貴族が、自分たちの優れた和歌を自費で出版したため
 3. 仏教の教えを広めるために、僧侶たちが和歌の形式を借りて記したため
 4. 中国から伝わった漢詩を、日本風の和歌に翻訳してまとめたため
- 問2 藤原氏が行った摂関政治において、権力の基盤となった「外戚」という言葉の説明として、最も適切なものはどれですか。（2016年 和歌山県公立入試 類似）
1. 父方の親戚のことで、代々天皇の教育を担当する家系の立場を指す。
 2. 大陸から渡来した一族のことで、最新の文化や技術を伝える専門職を指す。
 3. 母方の親戚のことで、特に天皇の母方の祖父や叔父などの立場を指す。
 4. 地方の有力な武士のことで、朝廷の警護を任された軍事的な役職を指す。
- 問3 平安時代初期、遣唐使として唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広めた僧侶は誰ですか。（2024年 山形県公立入試 類似）
1. 最澄
 2. 行基
 3. 空海
 4. 鑑真
- 問4 8世紀の歴史年表において、奈良時代の終わってから平安時代の始まりにかけて、仏教勢力から距離を置き政治を立て直すために、平城京から長岡京、さらに平安京へと都を移した天皇は誰ですか。（2023年 山形県公立入試 類似）
1. 持統天皇
 2. 天武天皇
 3. 聖武天皇
 4. 桓武天皇
- 問5 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に日本独自の貴族文化である国風文化が栄えました。この時期、藤原道長の娘である中宮彰子に仕え、貴族社会の人間模様を全54帖にわたって描いた長編小説の作者は誰ですか。（2024年 栃木県公立入試 類似）
1. 清少納言
 2. 和泉式部
 3. 小野小町
 4. 紫式部
- 問6 藤原氏の権力が全盛を極めた時期の様子について述べた文として、最も適切なものはどれですか。娘を次々と天皇の后にし、権力を独占した人物の動向や当時の状況を踏まえて選びなさい。（2024年 福島県公立入試 類似）
1. 藤原道長が、天皇の位を譲ったあとに上皇として院庁を開き、政治の実権を握った。
 2. 藤原頼通が、武士の力を背景に太政大臣となり、日宋貿易を推進した。
 3. 藤原道長が、自分の栄華を「満月の欠けることのない様子」に例えて歌に詠んだ。
 4. 藤原不比等が、大宝律令を制定して天皇中心の律令国家の仕組みを完成させた。
- 問7 平安時代に発達した国風文化の中で、漢字を日本風に簡略化したり、その一部を抜き出したりすることによって作られた、日本語の音を表記するための文字を何というか。（2023年 熊本県公立入試 類似）
1. ハングル
 2. 甲冑文字
 3. 万葉仮名
 4. かな文字
- 問8 平安時代末期、平氏政権の経済的基盤を固めるために平清盛が積極的に進めた中国との貿易について、その貿易の拠点となった港（現在の神戸市）の名称と、相手国の王朝名の正しい組み合わせを選びなさい。（2018年 熊本県公立入試 類似）
1. 大輪田泊と宋
 2. 十三湊と明
 3. 鴻臚館と元
 4. 大輪田泊と唐
- 問9 平安時代末期に、武士として初めて太政大臣となり政治の実権を握った人物は誰ですか。（2026年 徳島県公立入試 類似）
1. 足利尊氏
 2. 藤原道長
 3. 源頼朝
 4. 平清盛
- 問10 平安時代末期、武士として初めて太政大臣の官職に就き、政治の実権を握った人物は誰ですか。この人物は、現在の神戸市にあたる大輪田泊を整備し、中国との貿易を積極的に進めたことでも知られています。（2019年 岩手県公立入試 類似）
1. 平清盛
 2. 足利義満
 3. 北条時宗
 4. 源頼朝
- 問11 10世紀頃、朝廷が地方の統治を国司に委ね、その権限を強化せざるを得なくなった背景として、当時の社会状況を説明した文として最も適切なものはどれか。（2018年 香川県公立入試 類似）
1. キリスト教の布教を制限し、特定の有力者による貿易の独占を防ぐ必要があったため。
 2. 武士団の反乱が各地で相次ぎ、軍事的な指揮権を現地の役人に一本化する必要があったため。
 3. 戸籍による民衆の把握が困難になり、土地を単位として課税する仕組みへ移行する必要があったため。
 4. 大陸からの侵攻に備えるため、地方の防衛体制を早急に整える必要があったため。
- 問12 10世紀頃の日本で、唐の文化を吸収した上で、日本の風土や暮らしに合わせた独自の文化が発達しました。この文化において、漢字を簡略化して作られた「かな文字」を用いて執筆された、平安時代の貴族の生活を描いた作品として適切なものはどれですか。（2021年 和歌山県公立入試 類似）
1. 新古今和歌集
 2. 万葉集
 3. 源氏物語
 4. 方丈記
- 問13 平安時代中期、社会への不安や「仏教の教えが正しく伝わらなくなる時期が来る」という末法思想が広まるなかで、阿弥陀如来にすがって「南無阿弥陀仏」と唱えることにより、死後に苦しみのない世界へ生まれ変わりを願う信仰が流行しました。この信仰の名称として正しいものを、次の選択肢から選びなさい。（2022年 新潟県公立入試 類似）
1. 空海が中国から伝え、山の中での修行を重視した真言宗
 2. 厳しい修行や座禅を通じて自らの力で悟りを開こうとする禅宗
 3. 聖武天皇の時代に国家の平穏を祈って各地に建立された国分寺の信仰
 4. 阿弥陀如来の力によって極楽浄土への往生を願う浄土信仰
- 問14 平安時代末期に奥州藤原氏が岩手県の平泉に建立した中尊寺金色堂は、堂の全体が金箔で覆われ、内部は螺鈿（らでん）などの豪華な装飾が施されています。このような仏堂が造られた背景にある、当時の貴族や武士の間で広く信仰された、死後に安らかな世界へ生まれ変わりを願う思想は何か、次の中から選びなさい。（2019年 和歌山県公立入試 類似）
1. 鎮護国家のために経典を重んじる学問的な仏教
 2. 日本古来の神と仏が一体であると考える神仏習合
 3. 厳しい修行によって悟りを開こうとする禅宗
 4. 極楽浄土への往生を願う浄土信仰（浄土教）